

別紙1 登園許可書が必要な感染症(神崎市立保育園 令和6年4月)

感染症名	おもな症状	感染しやすい期間	登園のめやす
麻疹(はしか)	発熱・鼻汁 目やに・発しん・くしゃみ	発症1日前から発しん出現後の4日後まで	解熱後3日を経過してから
インフルエンザ	熱 関節や筋肉の痛み 全身倦怠感 咳・鼻水・のどの痛み	症状がある期間	発症した後5日を経過し、かつ解熱した後2日を経過するまで(幼児(乳幼児)にあっては、3日を経過するまで)
新型コロナウイルス感染症	熱 全身倦怠感 咳・鼻水・のどの痛み	発症後5日間	発症から5日間経過し、かつ症状軽快後1日を経過してから
風しん	38℃前後の発熱 発しん リンパ節の腫れ	発しん出現の前7日から後7日間くらい	発しんが消失してから
水痘(水ぼうそう)	発しん→水泡→かさぶた 軽い発しん	発しん出現1～2日前から痂皮形成まで	すべての発しんが痂皮化してから
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	発熱 耳の前下部の腫れと痛み(押すと痛む)	発症3日前から耳下腺腫脹後4日	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現してから5日を経過するまで、かつ全身状態が良好になるまで
結核	発熱・咳・喀痰・喀血 疲労・体重減少など		医師により感染の恐れがないと認めるまで
咽頭結膜熱(プール熱)	38℃～40℃の発熱・喉の痛み・目やに・結膜の充血	発熱、充血等症状が出現した数日間	主な症状が消え2日経過してから
流行性角結膜炎	目の異物感・充血・まぶたの腫れ・目やに・瞳孔に点状の濁り	充血や、目やに等症状が出現した数日間	感染力が非常に強いいため結膜炎の症状が消失してから
百日咳	コンコンという短く激しい咳が続く	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後3週間を経過するまで	特有の咳が消失するまで又は5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療を終了するまで
腸管出血性大腸菌感染症(O157、O26、O111等)	激しい腹痛 水様性の下痢、血便		症状が治まり、かつ、抗菌薬による治療が終了し、48時間をあけて連続2回の検便によって、いずれも菌陰性が確認されたもの
急性出血性結膜炎	目の激しい痛み 結膜が赤くなる 異物感・涙が出る	ウイルスが呼吸器から1～2週間、便から数週間～数か月排出される	医師により感染の恐れがないと認めるまで
髄膜炎 菌性髄膜炎			医師により感染の恐れがないと認めるまで
溶連菌感染症	発熱(39℃前後) 発しん・扁桃発赤・腫腸・咽頭痛・いちご舌など	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後1日間	抗菌薬内服後24～48時間経過していること
マイコプラズマ肺炎	発熱・乾性の激しい咳が続く 咽頭炎 胸部レントゲン陰影	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後数日間	発熱や激しい咳が治まっていること
手足口病	軽い発熱(2～3日) 小さな水泡が口の中や手足にできる	手足や口腔内に水泡・潰瘍が発症した数日間	発熱や口腔内の水泡・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
伝染性紅斑(リング病)	両頬に少し盛り上がったじんましんのような発しん、発熱	発しん出現前の1週間	全身状態が良いこと
ウイルス性胃腸炎(ノロ、ロタ、アデノウイルス等)	吐き気・嘔吐・下痢 腹痛・発熱	症状のある間と、症状消失後1週間(量は減少していくが数週間ウイルスを排泄しているので注意が必要)	嘔吐、下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれること
ヘルパンギーナ	高熱(38～39℃) 咽頭発赤・のどの奥に白い小さな水疱疹	急性期の数日間(便の中に1か月程度ウイルスを排泄しているので注意が必要)	発熱や口腔内の水泡・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
RSウイルス感染症	発熱・鼻汁・喘鳴・呼吸困難	呼吸器症状のある間	呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと
带状疱疹	小水疱・神経痛	水泡を形成している間	すべての発しんが痂皮化してから
突発性発しん	高熱・発しん・軟便	発熱中	解熱し機嫌が良く全身状態が良いこと

【保育所における感染症ガイドライン(厚生労働省)及び罹患した子どもが登園する際の対応(こども家庭庁)】